

以下のデータは、英辞郎 Ver. 173 で追加された全データのごく一部です。
これらのサンプルデータにおいては、漢字の読み仮名が削除されています。

コンピューター／インターネット

■backquote {名} : バッククオート◆平仮名「か」や「な」の点に似た半角の記号『`』◆主に、引用符の一種として使われる場合の呼称。字形は重アクセント (grave accent) 記号と同じ。片仮名では「バッククオート」とも表記される。

■bug bounty : 《a ~》バグ報奨金◆バグの発見者に支払う報奨金のこと

■fix a nasty bug : たちの悪い [悪意のある・悪質な] バグを修正する

■infected with ransomware : 《be ~》ランサムウェアに感染している◆【参考】ransomware
う}

■tarbomb {名} : TAR ボム、TAR 爆弾◆(悪意ではないにせよ) 行儀の悪い tar 書庫。単純に解凍 (展開) すると多数のファイルがカレント・ディレクトリ内に飛び散り、既存ファイルと出てきたファイルがごちゃ混ぜになってしまう。何か壊れるといった実害はないが、状況によっては後始末が大変。一つのディレクトリにまとめてから書庫にすれば、このような問題は起きない。
◆【参考】tar ; untar ; tarball

■trusted execution environment : 《a ~》信頼できる [信頼性の高い] 実行環境◆【略】TEE

医学

■antidepressant discontinuation syndrome : 抗鬱薬 (の) 中断症候群◆【略】ADS

■cold bug : 〈話〉風邪のウイルス◆複数形で使われることが多い (cold bugs)

■screen apnea : スクリーン無呼吸症候群◆スマホやタブレットなどの画面を見ることに集中する時に、無意識のうちに呼吸が浅くなったり停止したりする状況。

その他

■air fryer : エアフライヤー◆油を使わずに、熱風を発生させて、食材から出る油分を利用して揚げ物をつくれる調理器具。

■alternativity {名-1} : オルタナティブとしての性質 [性格]、オルタナティブ性、代替的性質、(複数の) 選択肢の存在、可変性◆不可算◆主流派と異なるアプローチ・柔軟な発想などについて◆【類】alternativeness

■alternativity {名-2} : 《数学》交代性◆不可算◆結合性と似ているが、それより弱い概念。ある代数系の任意の 2 要素 a, b について、例えば $(ab)b=a(bb)$ が成り立つこと。

■aposematically {副} : [動物などについて] 警告 [警戒] 色として

■autobesity {名} : オートビーシティ、自動車の肥満化◆不可算◆大型車に乗りたがる人が増えて、車が大型化・重量化する傾向にあり、駐車スペース・交通事故・公害などの問題を増加さ

せている状況。◆【語源】 auto (自動車) + obesity (肥満)

■beautiful (both) inside and out : 《be ~》心 [内面] も外面 [外見] も美しい、ハンサム [チャーミング] で性格もいい◆人についての褒め言葉■get weird looks : 変な目で見られる◆奇行 (と思われても仕方ない事柄) などについて周囲の人々から

■bomb an interview : 〈俗〉面接 (試験) で大失敗する、面接で爆死する◆【直訳】面接を爆破する ⇒ ぶち壊す・悲惨な結果に終わらせる

■cash-oriented economy : 《a ~》現金志向 [主義] の経済◆その地域では現金取引が一般的 (キャッシュレス決済などは一般的でない)

■chromism {名} : クロミズム◆物質の色が外部からの刺激によって変化する現象。◆【参考】thermochromism

■clean meat : クリーンミート◆動物を殺すことなく、その細胞から人工培養で生産される食肉。

■crash-land on Mars : 火星に不時着 [硬着陸] する◆hard landing と crash landing は同様の意味だが、後者には「着陸の衝撃がより強い」「ダメージが大きい」というイメージがある。

■cryptic animal : 《a ~》保護色 [発見されにくい形態] の動物

■disposable handwarmer : 《a ~》[小型の] 使い捨て [使い切り] カイロ

■embrace solitude : 孤独の良さを理解する、孤独も良いものだと受け止める、独りの時間を有効活用する

■idiot magnet : 《an ~》ばかを引き寄せる (性質を持つ) 人 [物・存在] ◆ (引き寄せる存在自体が愚かとは限らないが) 何らかの理由で愚かな人々が集まってくる

■immediate and unconditional humanitarian pause : 即時かつ無条件の人道的休戦

■immersiveness {名} : [映像表現・音響空間などの] 没入感◆【参考】immersive

■know shit about {1} : 〈卑俗〉~に関してでたらめ [いかげん] な知識を持っている、~についてろくな知識を持っていない◆shit は下品な語。否定形を使って not know shit about と表現されることも多い。「くずのような知識を持つ・まともな知識がない」とさげすむ文脈で使われる。肯定でも否定でも同じ意味になる他の例として、could [couldn't] care less がある。

■know shit about {2} : 〈卑俗〉~について (めっちゃ) 詳しい◆この shit は漠然と「物事」を指す。例えば親友について褒める文脈でこのように言った場合、言い方は下品だが、内容的には「かなりの知識を持つ」というプラスの意味。日本語の「くそ詳しい・鬼のように詳しい」などの表現と似ている。◆【参考】know one's shit

■least compelling evidence : 《the ~》まるで [ほとんど] 説得力のない証拠

■maple butter : メープル・バター◆《1》メープルシロップを加工した食材。ピーナツバターに似ている。《2》メープルシロップとバターをミックスした食材。

■math ace : 《a ~》〈話〉[学生などについて] 数学の成績がトップ [最優秀] の人、数学で満点を取る優等生

■morally despicable act : 《a ~》倫理にもとる [人道に反する・道徳的に許されない] 蛮行

■no first use : 先制 [先行] 不使用◆核兵器による攻撃を受けない限り、核兵器を使用しないこと。◆【略】NFU

■no-kill movement : ノーキル運動◆犬や猫のペット動物の殺処分をゼロにしようとする運動。

■not do well with too much water : [乾燥した環境を好む植物などについて] 水を与え過ぎ

ると良くない、水のやり過ぎは禁物である

■rookie mistake : 《a ~》〔その分野に不慣れな新人が犯すような〕経験不足による〔初歩的(な)〕ミス

■snazzy suit : 《a ~》〈話〉小粋な〔しゃれた・格好いい〕スーツ

■supporting proof : 〔理論などを〕支持する証拠、〔主張などの〕裏付けとなる証拠、〔しっかりした〕根拠

■unintentional nuclear war : 《an ~》〔人的ミス・装置の誤作動などによって始まる〕意図しない核戦争◆【類】accidental nuclear war

■visual effects artist : 《a ~》〔映画などの〕(特殊)視覚効果担当(者)、ビジュアル・エフェクト・アーティスト、視覚効果技師〔アーティスト〕◆【略】VFX artist

■whole-of-government efforts : 政府全体での〔による〕取り組み、政府一丸〔一体〕の〔となった〕取り組み

略語

■NVM-Express : =Non-Volatile Memory Express●不揮発性メモリ・エクスプレス◆不揮発性メモリを使用した記憶装置を接続するためのインターフェース規格◆【参考】non-volatile memory

■NVMe : =Non-Volatile Memory Express●不揮発性メモリ・エクスプレス◆不揮発性メモリを使用した記憶装置を接続するためのインターフェース規格◆【参考】non-volatile memory

■TEE : =trusted execution environment●信頼できる〔信頼性の高い〕実行環境

■VHSV : =viral hemorrhagic septicemia virus●ウイルス性出血性敗血症ウイルス

例文集「例辞郎」

■Big things have small beginnings. : 大きな事は小さな事から始まる。／どんな大きな事も最初は小さいものである。／千里の道も一歩から。／小さな事に気を配ることが大きな功績につながる。

■Build one to throw away. : 捨てるために一つ作りなさい。◆ソフトウェア開発の格言。「テスト実装と割り切ってバージョン1を作ってみれば、問題点が洗い出されバージョン2以降が良くなる」というほどの意味。「捨てるために作る」というのは極論だが、「失敗作でも意味があること」「試行錯誤によって学ぶことの大切さ」を端的に言い表したもの。◆【参考】If at first you don't succeed, try, try again.

■Clasp your hands behind your head. : 頭の後ろで手を組んでください。◆【場面】ストレッチ体操・姿勢などの指示。

■Don't jump to the conclusion just yet. : まだ結論に飛び付いてはいけません。／早合点しないでください。／拙速に結論を出すな。

■Eyes on the road! : 道路を見て(運転してください)! / 脇見運転するな! / おい前を見る! / 前・前! ◆Keep your eyes on the road.と同じ意味。急いで警告する必要がある、きちんと

と全文を言っている暇がない場合など。

■How could you not know? : どうして（そのことを）知らないのですか？／本当に「そんなことも」知らないの？／知らないわけないでしょう？

■That's not how I remember it. : それ「その話」は、私の記憶とは一致しません。／それって私の記憶と違うけど…。／そうだったっけ…？◆【場面】話題になっている主張は、話者が記憶している内容と異なる。場合によっては「うそをつくな」という含意。

■There is the door. : （ここに）ドアがありますよ。／ドア「出口」はあちらですよ。◆【場面】歓迎されない人物などに対して、間接的に「帰ってほしい・（不満があるなら）出て行け」と告げる。

